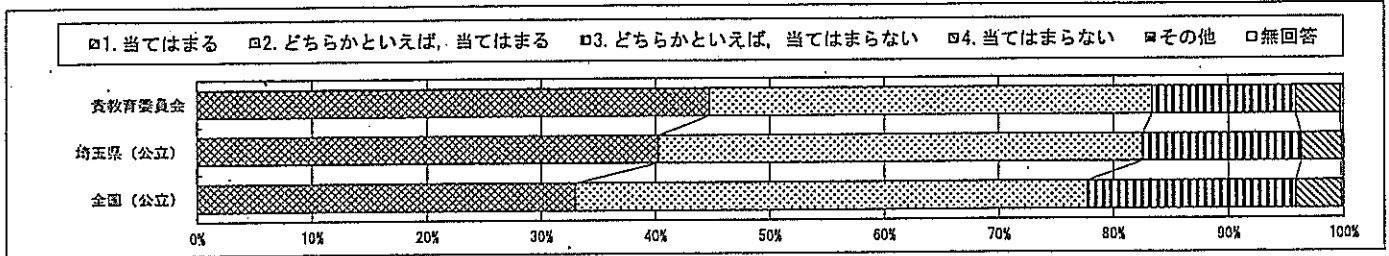


# 令和元年度 全国学力・学習状況調査 質問紙の抜粋(全国・県との比較)

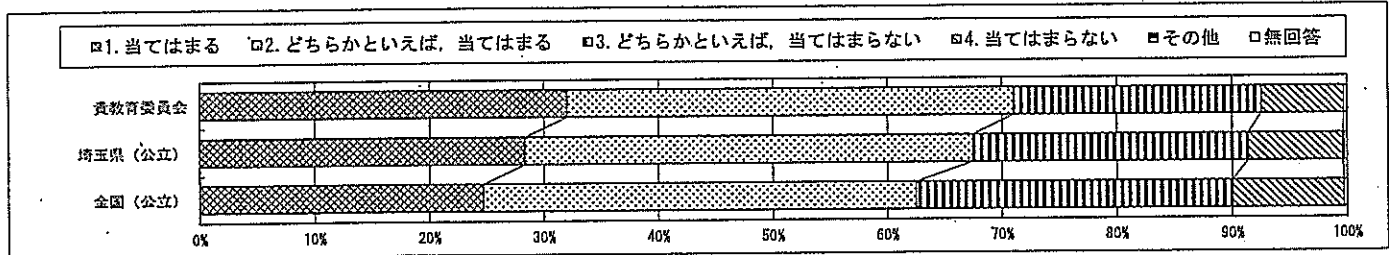
## 児童質問紙による授業改善への分析

### 小学校

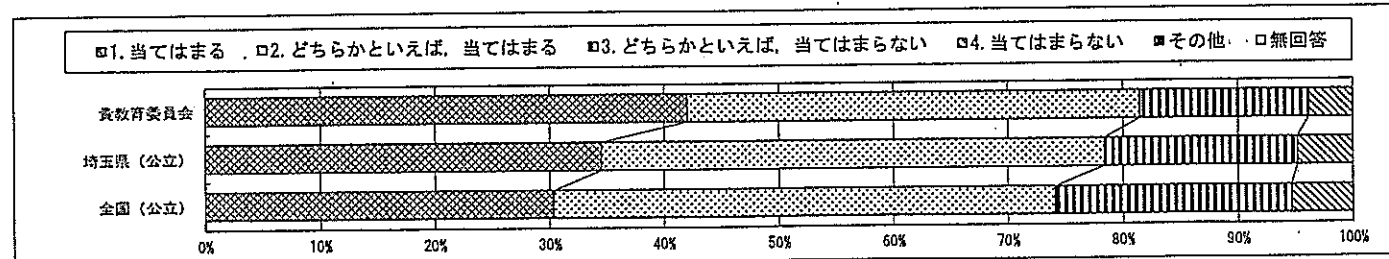
質問番号	質問事項										
(35)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	44.8	38.7	12.4	3.9						0.0	0.3
埼玉県(公立)	40.2	42.3	13.7	3.5						0.0	0.2
全国(公立)	33.0	44.7	18.1	4.0						0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(36)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	32.0	39.0	21.5	7.2						0.0	0.3
埼玉県(公立)	28.3	39.2	23.9	8.2						0.1	0.3
全国(公立)	24.7	37.8	27.5	9.7						0.0	0.3



質問番号	質問事項										
(29)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	42.0	39.5	14.6	3.9						0.0	0.0
埼玉県(公立)	34.5	43.9	16.7	4.9						0.0	0.0
全国(公立)	30.3	43.8	20.5	5.4						0.0	0.0



・質問番号35「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」では、「当てはまる」と回答した児童の割合は、昨年度と比べて、11.7%増加し、全国や県よりも約4ポイントから11ポイント上回っている。また、質問番号36や質問番号29の「当てはまる」と回答した児童の割合も、昨年度と比べて約6ポイントから9ポイント上回っている。

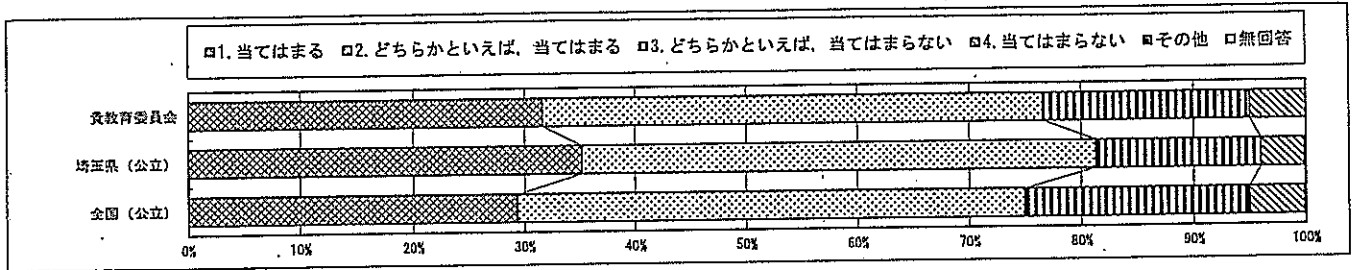
→これらの結果から、「幸手スタンダード授業5」や「言葉かけ改善モデル」「幸手学びのすすめ10か条(3+7)」による授業改善が着実に浸透していることがわかる。また、児童が主体的に学びたいと思える課題の設定等についても学校訪問等をとおして、改善が進んでいる。

# 令和元年度 全国学力・学習状況調査 質問紙の抜粋(全国・県との比較)

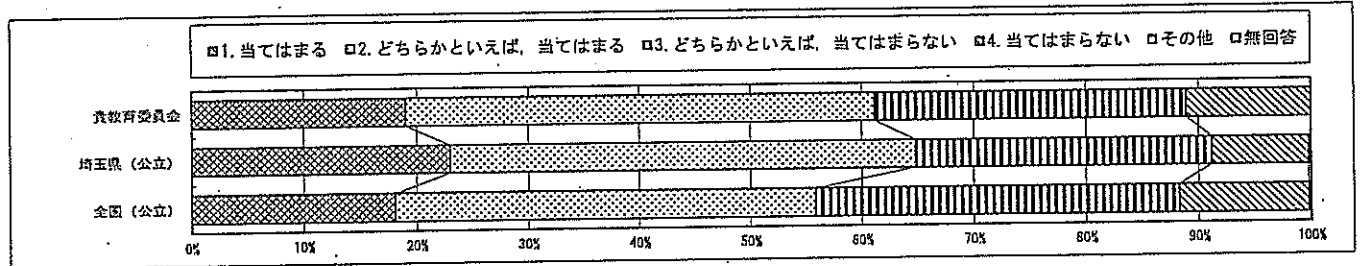
## 生徒質問紙による授業改善への分析

### 中学校

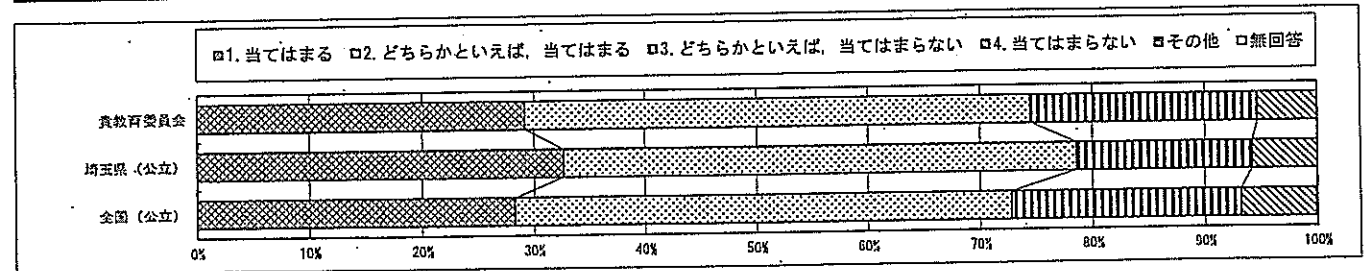
質問番号	質問事項											
	1. 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	31.6	45.0	18.4	5.0							0.0	0.0
埼玉県(公立)	35.2	46.1	14.7	3.9							0.0	0.1
全国(公立)	29.3	45.5	20.0	4.9							0.0	0.1



質問番号	質問事項											
	1. 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	19.0	42.1	27.8	11.1							0.0	0.0
埼玉県(公立)	23.0	41.8	26.4	8.6							0.0	0.2
全国(公立)	18.1	37.7	32.4	11.6							0.0	0.2



質問番号	質問事項											
	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	29.2	45.3	20.2	5.3							0.0	0.0
埼玉県(公立)	32.6	45.9	15.6	5.8							0.0	0.0
全国(公立)	28.3	44.5	20.4	6.7							0.0	0.1



・質問番号37「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」では、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比べて、3.8%減り、県よりも3.6ポイント下回っている。また、質問番号38や質問番号32の「当てはまる」と回答した生徒の割合も、昨年度と比べて約3ポイントから7ポイント下回っている。

→これらの結果から、全体的に昨年度の結果より数ポイント下回っていることがわかる。中学校における「幸手スタンダード授業5」や「言葉かけ改善モデル」「幸手学びのすすめ10か条(3+7)」への取り組みを強化することをとおして授業改善を図っていく。